



本学の新たな憩いの広場「らてす」から望む附属病院

ごあいさつ

医療連携福祉センター長 成松 英智



医療連携福祉センター長の成松です。

連携機関の皆様におかれましては、平素より当センターの運営に並々ならぬご厚情を賜り、御礼を申し上げます。

令和5年4月に、センターの業務体制見直しに伴う係体制再編を行い、1年が経過いたしました。地域の医療・福祉関係機関の皆様のご協力をいただきながら、入院前から退院までスムーズな前方・後方連携を図るべく、日々努力しているところです。連携業務・退院調整業務において体制はまだ十分とはいえませんが、今年度新たに連携医療機関の皆様とのオンラインミーティングを開催するなど、文字通り「顔の見える」連携にスタッフ一同努めております。

今年度の大きなトピックスとしては、2018年から6年にわたる大々的な附属病院増改築工事も無事完了し、多床室の4床化など入院病室の居住性向上、内科外来のリニューアルによる利便性の向上が図られました。また道内唯一の「高度救命救急センター」をEICU（重症救急集中治療室）およびHCU（高度治療室）としてより専門的に機能分化いたしました。引き続き北海道の救急医療の中心としての責務を果たすべく日々邁進していく所存です。

当センターは引き続き地域のニーズに応えるべく、地域医療福祉機関との連携を今まで以上に強化を図ってまいります。今後とも皆様にはご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【SAPMED Meetingについて】

患者サポート係 主査 本間 一憲

いつもお世話になっております。ソーシャルワーカー本間と申します。この度は「SAPMED Meeting」をご紹介したく、筆を執らせていただきました。

令和5年4月に医療連携福祉センターが再編され、医療連携福祉係、患者サポート係、入院支援係による、より専門性の高い患者支援や地域医療連携が対応できるようになりました。患者サポート係では医療機関同士の連携強化を図るべく、当院との連携実績に基づいた各医療機関の連携部門実務担当者を招き、各医療機関における情報共有を図る機会として、本会議（当院のドメインから名称をSAPMED Meeting サブメド ミーティングに決定）を開催しております。

年4回の開催を予定しており、現時点で2回開催しています。第1回は主に当院からの転院先として協力をいただく機会が多い医療機関を対象に、4月17日(水)・18日(木)・24日(水)・25日(木)の全4日間の日程で行い、合計24機関の方々にご参加いただきました。WEB上ではありますが、参加された方々と顔の見える環境で、自院の近況やコロナウイルス感染症対策における面会の制限状況等についてうかがうことができました。初回ということもあり、運営と準備に戸惑うこともありましたが、皆さんとの連携における貴重な情報交換の機会を作ることができたのではないかと手応えを感じています。

第2回は、晴生会さっぽろ病院に共催をいただき、共催のおかげで参集範囲が拡大し、7月22日(月)から26日(金)まで、5日間で45機関の方にご参加いただいています。この回では主に身寄りのない患者さん支援の現状や対応についての情報交換をさせていただきました。参加された方々からは、実践や対応の悩み等に関する活発な意見交換がなされ、本テーマへの関心の高さがうかがえました。

このように当院では、この「SAPMED Meeting」を通じて、連携医療機関の皆さんとの情報交換を第一とし、併せて皆さんが関心を寄せるテーマに関する知識の補填や患者支援のヒントを得ることのできる情報の発信する場として開催を継続してまいります。今後ともよろしく願いいたします。



オンラインミーティングの様子（一部画面を加工しています）

病棟増改築工事完了のお知らせ

2018年に西病棟が完成し、以後6年にわたり既存棟の改修工事が行われておりましたが、今年度ようやく完了いたしました。患者さんの利便性・居住性の向上につながるよう、外来棟のリニューアル、入院病棟の多床室の4床室化など、環境面の改善が図られました。



リニューアルした内科新来待合室



準個室（家具で仕切られた4床室）

トピックス【2】

【チーム医療のご紹介 S-ChiPS (エス-チップス) について】

小児科学講座助教・S-ChiPS リーダー 平川 賢史



2023年に発足したS-ChiPSは、当院における病院内子ども虐待対応組織（CPT：Child Protection Team）の名称で、札幌医科大学附属病院児童虐待防止班Sapporo medical university hospital Child Protection Systemsの略です。

当院の児童虐待対応委員会の下に設置され、小児科・産科周産科・高度救命救急センターの医師・看護師と患者サポート系のソーシャルワーカーから構成されており、虐待を受けた子どもや虐待を受けている可能性がある子どもへの対応を行っています。診察の場で虐待が疑われた場合に、関連する他科へコンサルトしたり、地域の保健センターや児童相談所と連絡を取り合ったりしています。虐待が起こるかもしれないハイリスクな家庭については、S-ChiPS内で情報を共有し、小児科外来で育児を見守るようなフォローをしています。

また、子ども虐待の早期発見や予防という面からは、当院で働く人たちが全体で、組織として子どもたちに関わっていく必要があります（そんな想いからTeamではなくSystemsという名前になっております）。全ての科で子どもを診察する機会がありますし、親御さんの体調不良や経済的・心理的な困難さから療育環境が整わず、虐待やネグレクトにつながることもあるからです。

子ども虐待は疑わなければ表面化しないので、たくさんの「あれれ？」の違和感が子どもたちを救うきっかけにつながります。『この子、何か不自然かも？』『この患者さんのお子さんはどうやって生活しているのだろう？』など、気になる子どもたちの情報のカケラ（=chips）を、友達とお菓子（=chips）を食べながらの雑談と同じくらい軽い気持ちでS-ChiPSに相談してもらえよう、活動に取り組んでおります。

これをお読みになった方の周りに「気になる子」がいて、どこに相談するのがよいか迷われた際には、どうぞ私たちS-ChiPSにお声がけください。



インフォメーション【1】

○新患の外来受診予約について

1. 新患外来予約の申し込み先等

専用FAX番号：011-621-2233

電話番号：011-611-2111（内線51240）

※月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

2. 予約の申し込み方法

○新患外来予約専用の申込用紙「**新患外来診療予約申込書**」に記入の上、FAXでお申し込みください。専用の書式は当院のホームページからダウンロードできます。

申込書2枚目の右上に「**Ver1.5**」と記載があるものが最新となります。

※お電話いただければ様式をお送りすることも可能です。



～新患外来受診予約のWEBサイト

<http://web.sapmed.ac.jp/hospital/medical/mumhv60000002zmz.html>

・受付時間：午前9:00～12:00、午後13:00～16:00まで

※16時以降のFAX受信は、翌診療日の受付となります。

・患者さんご本人からの予約申込みは受け付けておりません。（遺伝子診療科、神経精神科を除く）

・**申込当日にFAXで予約票をお送りします（免疫リウマチ内科は翌診療日、産科周産期科は3診療日後となります）。**
お送りしました予約票は、貴院から患者さんへお渡しください。

・申込当日と翌日の予約申込み、検査のみの予約申込みは承っておりませんのでご注意ください。

・申込みをいただき受診いただいても、疾病の内容などにより、当院では診療をお引き受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

申込みFAXに関するお願い

・**送信枚数が8枚以上になる場合は、あらかじめ電話でご連絡をお願いします。**混み合う時間を避けるようお願いする場合があります。特に、検査データ等の枚数が多くなる場合はご協力をお願いします。

・紙面による画像・写真の送信は黒く印刷され確認が難しいため、ご遠慮下さい。

・初診の申し込みではなく、再来受診の患者さんの事前の診療情報提供書の送信については、新患外来予約では受け付けておりませんのでご了承下さい。受診当日に患者さんがご持参下さい。

3. 受診受付

・患者さんは、予約票、保険証、診療情報提供書などをお持ちの上、予約時間の30分前までに**新患受付5番窓口**で受付を済ませてから、外来でお待ちください。

インフォメーション【2】

医療連携福祉センターでは、大学病院として、高度急性期医療と良質で満足度の高い医療サービスの提供のために、地域の医療機関等との連携体制の推進に努めています。より良い連携を今後も推進していくために、在宅ケア機関からお問い合わせが多い業務について、具体的にご案内いたします。

○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが当院に入院したとき

- 病状の問い合わせは入院病棟の看護師にお問い合わせください。
- 看護サマリー等はお電話の上、FAXしていただければ病棟にお届けします。

患者サポート係 電話番号 011-611-2111 (代表)
患者サポート係FAX 011-688-8335

○訪問看護や介護保険サービスで担当している患者さんが外来通院中のとき

- 通院中の患者さんについての報告など、情報提供は書面にして「**医事経営課 文書受付窓口**」まで郵送してください。受診日が近いなど急ぐ場合は、事前に患者サポート係へ電話連絡をしてから、医療連携福祉センターにFAXしていただければ外来にお届けします。

※訪問看護指示書の依頼や報告書も「**医事経営課 文書受付窓口**」でお受けしています。

- 現在継続して受診中の患者さんの受診日の変更や病状についてのご相談は、各外来看護師に連絡してください（午前中は混み合っているため**14時～15時30分**をお願いします）
- 患者さんの中には、いくつも病院にかかっているのが札幌医大病院にまとめたという要望もあるようですが、高度急性期医療機関であることをご理解いただき、まずはかかりつけ医にご相談いただきますようご協力をお願いします。

※患者サポート係が関わった患者さんに関するお問い合わせは、各診療科担当者にご連絡ください。

患者サポート係 電話番号 011-611-2111 (代表)
(内線 31930、51210、51250、51330、51360、51270、51260、70001、31891、31890)

○文書を依頼するとき

- 患者さんが、通所リハビリに通いたい、訪問入浴サービスを導入したい等で、医師の診療情報提供書が必要なときは、患者さんの同意が確認できる依頼書により、診療情報提供書の提供に応じています（有料となりますので、自己負担が生じることをご理解の上、お申込みください）。
- 依頼する場合は、専用書式「診療情報提供依頼書」に内容記載し、必要書類添付のうえ、「**医事経営課 文書受付窓口**」あてに郵送をお願いします。専用書式は、医療連携福祉センターWEBサイトの「保健・福祉関係機関の方へ」からダウンロードできます。診療情報提供料については、患者さんあてに納入通知書を郵送しますので、届きましたらお近くの金融機関でお支払いください。

注1 施設の所定様式等がありましたら同封してください。

注2 FAX、メールでの受け付けは行っておりません。

注3 直接、医師への依頼はできません。

注4 患者さんの「生年月日」、「必要な理由及び情報提供必要事項等」の必要事項の記載漏れがないようお願いします。

注5 切手を貼付した返信用封筒の同封をお願いします。

詳しくは文書依頼のWEBサイトをご覧ください。

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/b1h640000000958.html>

医事経営課 文書受付窓口 電話番号 011-611-2111 (内線32040)

○相談窓口

当院は、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院（エイズ治療ブロック拠点病院）の指定を受けており、医療連携福祉係のMSWが当院の患者さんに限らず広く次のご相談をお受けしております。当院に通院中の患者さん・ご家族の医療や生活に関する相談については、医療連携福祉センター患者サポート係が対応しています。どちらに相談すべきか迷うときは、まず医療連携福祉センターにお問い合わせください。なお、窓口での相談については**予約制**とし、お待たせする時間がないようにしております。

●がん相談

がんの患者さんやご家族からの、療養や生活に関する心配ごと、社会制度の活用などについて、個別の相談に応じております。

◇受付電話・受付時間…011-688-9506 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:30」

●がん相談サロン

大学寄附講座「アイン・ニトリ緩和医療学推進講座」と連携して、がん患者さんやご家族を対象とした交流会、学習会などを開催しております。開催日時のお問い合わせは下記サロン事務局にお願いします。

◇受付電話・受付時間…011-616-0234 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:00」

●肝疾患センター

肝疾患についての個別相談のほか、多くの方に肝疾患を理解してもらうための「市民公開講座」等を開催しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-5700 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～17:00」

●HIV外来の診療予約に伴う相談

HIV/AIDS診療を希望される方（初診の方）は、予め電話により受診日時のご予約が必要です。HIVの知識を持った看護師が対応し、「検査を受けたい」、「検査で陽性といわれた」などの相談も含め対応しています。

◇受付電話・受付時間…011-611-2111（内科外来 内線32770）

月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の「9:00～16:00」



詳しくは、札幌医科大学附属病院医療連携福祉センターのWEBサイトをご覧ください。

<https://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/>

編集後記

この春から患者サポート系の退院調整担当MSWとして勤務しております。これまでは同じ病院内で総合相談を担当していたのですが、初めての転院・在宅調整に戸惑いながら、あっという間に半年が経とうとしています。この間、不慣れな調整にもかかわらず、快くご対応いただいた転院先医療機関や各事業所の皆さま、本当にありがとうございます。

さて、私の日々の楽しみは野球観戦。日本ハムファイターズのある日のヒーローインタビューで、勝因を聞かれた選手の「チームの雰囲気が良いこと、野球少年のように心から野球を楽しんでいること」という言葉は、胸にグッと来るものがありました。プロ野球とフィールドは異なりますが、私たちの仕事もそうであったら良いなと感じました。よりよいチームワークで、円滑な連携が図れるよう一つ一つ経験を積んでいきたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。（患者サポート係 主任 木川 寛子）



札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター

医療連携福祉係 内線31840、31960、31910、31900、51230

51190（入院連携担当：直通FAX 011-688-9609）、

51240（新患受付担当：直通FAX 011-621-2233）

患者サポート係 内線31930、51210、51250、51330、51360、51340、51260、51270、
31891、31890、70001

直通FAX 011-688-8335

入院支援係 内線38830

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

TEL: 011-611-2111（代表）